

### 3、本時の展開

段階	学習活動と主な発問 (○主な発問、◎中心発問)	予想される児童の発言	教師の支援と評価 (※)
導入	1、バントについて知る。 ○バントはどのような時にしますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランナーを進める時</li> <li>監督からサインが出た時</li> <li>確実に1点取りたい時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球の話題にし、資料への動機付けを行う。</li> <li>野球のルールを知らない児童が理解できるよう、野球経験者の児童に問うたり、バントについて説明を加えたりして資料を読むようにする。</li> </ul>
展開 ・ 前段	2、「星野くんの二るい打」を読んで「星野君」の気持ちについて話し合う。 ○監督に呼ばれてバントを命じられた時、星野君はどんなことを考えていたでしょう。  ◎星野君の取った行動に賛成ですか。それとも反対ですか。その理由も加えて話し合ってみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>名誉挽回したいんだ。</li> <li>二塁の間も張り切っている。ぼくもいいところを見せたい。</li> <li>打てそうな気がするから、打ちたい。</li> <li>でも、監督の命令は破れない。</li> </ul> <p>◆賛成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分は当てられる自信があったし、結果も出せた。</li> <li>チームが県大会に進めた。</li> </ul> <p>◆反対</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監督の指示に従わなかった。</li> <li>結果はたまたまよかっただけで、自分勝手な行動だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>迷いはあるものの、不確かな自信で突っ切ろうとした星野君の自分よがりな行動に着目できるよう、補助発問を行う。</li> <li>「勝利を決定づけた」というプラスに取ることができる言葉をフラッシュカードで提示して、どちらの立場に立つかという思いをゆさぶる。</li> <li>自分がどちらの考えに賛成しているのか、迷っているのかが見えるようカードを提示させる。</li> <li>意見を述べる際は、話し合いが深まるようハンドサインを用いる。</li> <li>意見に偏りが見える場合は、その考えにはなぜ賛成できないのかという理由について意見を求める。</li> <li>話し合いの途中で話題がそれてくるようであれば資料に戻る。</li> </ul>
展開 ・ 後段	3、自分たち自身を振り返る。 ・話し合いで考えたことをもとに、これからの自分はどうかを公表しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっぱり規則は大切だ。</li> <li>集団で生活するからこそ、一人ひとりが規則をまもらなければならない。</li> <li>みんなが守らなければどうなっていたか。やっぱり規則は大切だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の学習を通して、これから自分の問題として、どう実践していくかを宣言することで、意識化を図る。</li> <li>※ねらいとする価値の内面的自覚をはかるようとしているか。自分を見つめ、考えを持つことができているか。(発表・つぶやき・ワークシート)</li> </ul>
終末	4、教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを守り、みんなにとって気持ちよく、自分も胸を張って学校生活を送りたいと思えるような説話を考える。</li> </ul>